



Keep Smiling!

ANNUAL REPORT 2025

認定NPO法人キープ・スマイリング
2025年度 年次報告書

INDEX

理事長メッセージ「付き添いは変えられる」	2-3
2025年度 TOPICS	4-5
私たちの目指す社会・活動の全体像	6
データで見る2025	7
活動報告「付き添い生活応援パック」無償配付事業	8
活動報告「付き添い生活応援パックライト」無償配付事業	9
活動報告 ミールdeスマイリング(食支援)事業	10
活動報告 病院支援事業	11
2025年度 活動カレンダー	12-13
支援を受け取った皆さまの声	14-15
支援者・支援企業の声	16-17
支援企業・団体一覧	18
財務報告	19



付き添いは変えられる

安心して付き添える・離れられる社会へ

娘たちが教えてくれたこと

2009年、長女が生まれてすぐにNICU（新生児集中治療室）へ運ばれたことをきっかけに、初めて付き添い入院を経験しました。2013年に生まれた次女も、生まれてすぐに手術が必要となり、長期入院となりました。二人の娘を通じて、約1年間で6つの病院で付き添い生活を送る中、多くのご家族と出会いました。眠れない日が続いても、十分に食事が取れなくても、体調を崩しても、皆さんの願いはただ一つ「子どもに元気になってほしい」ということ。お母さんたちにとって自分のことは後回しでした。2014年、次女は生後11か月でその短い生涯を終えました。深い絶望の中、私は何度も考えました。娘が生まれてきた意味、私のもとに来てくれた意味は何だったのだろう、と。答えは簡単には見つかりませんでした。

それでも、娘と出会ったからこそ知ったこと、見えたことがあります。もしこの経験を生かして誰かの役に立てるなら。世の中を少しでも良くできるなら。それが娘が生まれてきてくれた意味を作ることになるのではないか。そう思えたとき、ようやく前を向くことができました。そして「付き添うご家族を応援したい」「厳しい付き添い環境を改善したい」との思いで、2014年にNPO法人を立ち上げました。娘たちと病院で過ごした日々は、今も活動の出発点です。

付き添い家族へ。病院へ。 支援の幅が大きく広がった一年

2025年度には、「付き添い生活応援パック」は延べ約12,000家族、全国478病院へお届けし、支援企業は150社を超えました。食支援の「ミールdeスマイリング」事業では、累計提供数1万食を突破しました。さらに、緊急入院されたご家族を支える「付き添い生活応援パッケライト」を本格スタートし、2026年3月時点で全国54病院に導入されています。

病院への直接支援の機会も増えました。マットレスや電子レンジ、扇風機などの物品寄贈を実施し、今後さらに拡充していく予定です。2026年2月には、遠方の病院へ入院する子どもたちと家族のための交通費支援事業も開始しました。情報支援の面では、クチコミサイト「つきそい応援団」をリニューアル。さらに、付き添い経験者と医療機関を対象とした大規模調査を実施し、その結果を2026年夏に「付き添い白書」として発表するなど、支援の輪を着実に広げています。



子どもが入院しても、家族みんなが笑顔を守らずにいられる社会へ

子どもにとって、家族の存在はかけがえのないものです。親がそばにいる安心は子どもの笑顔につながります。そして、親の笑顔は子どもの笑顔へと連鎖します。だからこそ私たちは、「Keep Smilingー子どもが入院しても家族みんなが笑顔を守らずにいられる社会」をビジョンに掲げています。

私たちが目指しているのは、付き添いをなくすことではありません。子どもが親と一緒に過ごしたいときには安心してそばにいられること。親が休息やきょうだいの時間を必要とするときには安心して子どもを任せられること。子どもをまんやかに、家族の希望や事情に応じて付き添いの形を選ぶことができ、「安心して付き添える環境」と「安心して子どもを任せられる医療体制」が両立する社会です。子どもと家族、そして医療者がともに笑顔でいられる社会は、決して夢ではありません。私たちはこれからも、その実現に向けて歩み続けます。その歩みに共感し、支えてくださる皆さま一人ひとりが大切な存在です。ぜひこれからも、ともに未来をつくっていただけたら幸いです。

ひとりの付き添いを、みんなの寄り添いに。

認定NPO法人キープ・スマイリング理事長

光原 ユキ

TOPICS 2025

2025年度も休むことなく現場の課題に向き合い、一つひとつ実績を積み上げてきました。

新規事業

2月 交通費支援事業を始めました！

遠方の病院に子どもが長期間入院しているご家族を支える取り組みとして、ふるさと納税やクラウドファンディングでのご寄付をもとに「家族をつなぐ交通費支援」を開始しました。現在は心臓移植・腎臓移植の患者家族を対象に年間上限5万円まで補助しています。

医療者からのメッセージ

家族で会える時間を大切にしたいです といった喜びの声が届いています

当院には、全国各地から患者さんが搬送され、長期の入院生活を送っています。ご家族にとって、交通費の負担は大きなものです。地元に残るきょうだい児と会いたいという思いも強いですが、移動には少なくない費用がかかります。その現実を目の当たりにしていた中、キープ・スマイリングさまが交通費支援を開始されたことに深い敬意と感銘を抱いております。主治医として心より感謝申し上げます。



埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 講師 戸田紘一さん

- 2025 5月 認定NPO法人プラチナ・ギルドの会が主催する「プラチナ・ギルド アワード2025」を受賞
- 7月 「付き添い生活応援バックライト」本格始動



Keep Smiling! 5月23日、団体名を「キープ・ママ・スマイリング」から「キープ・スマイリング」へと変更

4月 クラウドファンディング実施 ネクストゴールも達成

4月29日～6月30日の期間「#ひと袋の安心を届けよう」を掲げ、付き添い生活応援バックライト本格稼働に向けたクラウドファンディングを実施。302名より466.5万円のご支援をいただき、ネクストゴールも達成しました。



9月 「第77回保健文化賞」受賞

「小児の付き添い環境改善」への活動が評価され、保健衛生に貢献した団体として栄誉ある賞をいただきました。また、皇居・御所で天皇皇后両陛下に拝謁し、活動を紹介。労いのお言葉をいただきました。

★ 小児医療系学会へ積極的に出展

「付き添い生活応援バック」「付き添い生活応援バックライト」の実物展示や、活動を紹介。付き添い環境の改善に向けて、医療現場の皆さまと、さらに連携を深めていければと願っています。

2025年度

- 4月18日～20日 「第128回 日本小児科学会学術集会」(愛知県)
- 6月4日～7日 「第67回日本小児神経学会学術集会」(鳥取県) ブース出展に加え、市民公開講座にて登壇
- 7月5日～6日 「第35回日本小児看護学会学術集会」(宮城県) 付き添いをテーマとしたセッションにも登壇
- 7月10日～12日 「第61回 日本小児循環器学会総会・学術集会」(三重県)
- 8月30日～31日 「第34回 日本外来小児科学会 年次集会」(香川県)
- 11月19日～21日 「第67回日本小児血液・がん学会学術集会 / 第23回日本小児がん看護学会学術集会 / 第30回がんの子どもを守る会公開シンポジウム」(福岡県)

＼ブースで活動をご紹介します！／



- 11月 クリスマスや年末年始に病院で過ごすご家族へ手書きのメッセージを届ける「#ひとりじゃない」キャンペーン実施
- 12月 12月31日、クラウドファンディング型ふるさと納税目標の500万円を達成
- 2026 3月 付き添い家族向けクチコミサイト「つきそい応援団」をリニューアル
- 6月 継続寄付者のコミュニティ「おひさまメンバーズ」発足



つき添い家族向けクチコミサイト
「つきそい応援団」をリニューアル

10月 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社様と連携し、 支援型自動販売機の展開を開始

西松建設株式会社様に設置いただき展開スタート。初のフルラッピング自販機は株式会社奥村組様の東京本社・東日本支社に設置いただきました。



11月～1月 付き添い家族、病院、 都道府県を対象に調査を実施

11月～年明け1月にかけて、付き添い当事者家族、病院、都道府県を対象に、付き添い環境の現状と課題を把握するための調査を実施しました。

12月 43病院1,565名へクリスマス プレゼントをお届け

小児病棟で開催されるクリスマス会に合わせ、付き添う親向けのプレゼントとして、寄贈商品を組み合わせ、ラッピングして届けました。

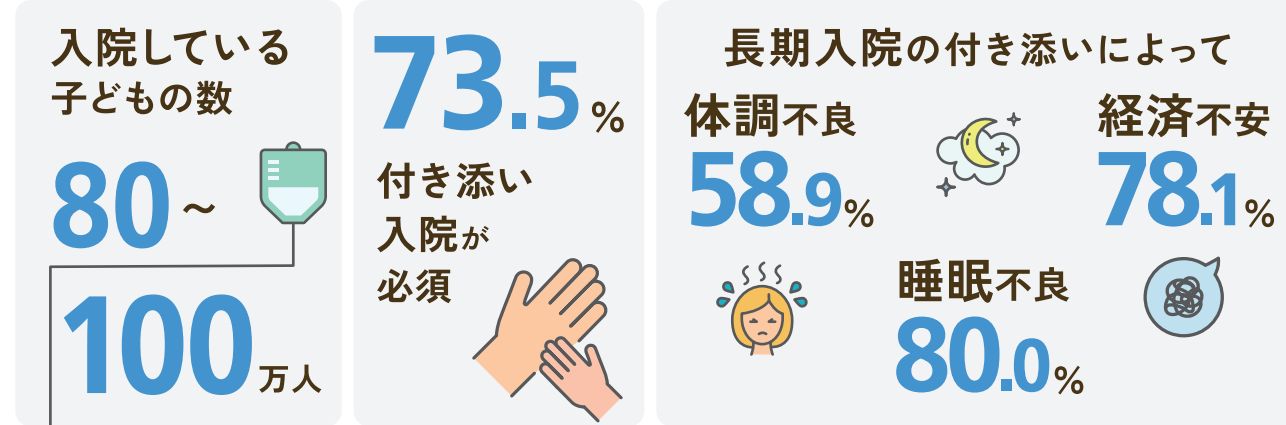
私たちの目指す社会・活動の全体像

データで見る2025

調査から見てきた付き添い生活の実態と、2025年度の活動の軌跡をデータでご紹介します。

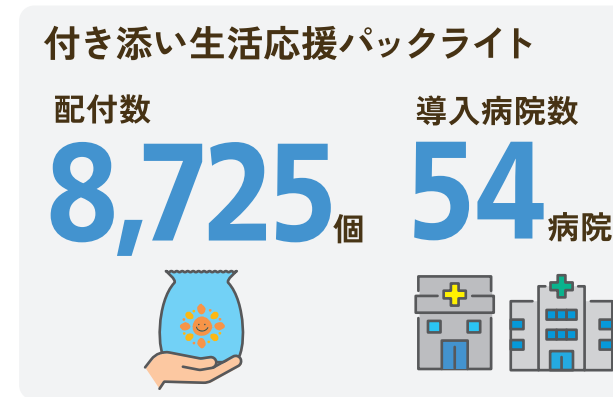
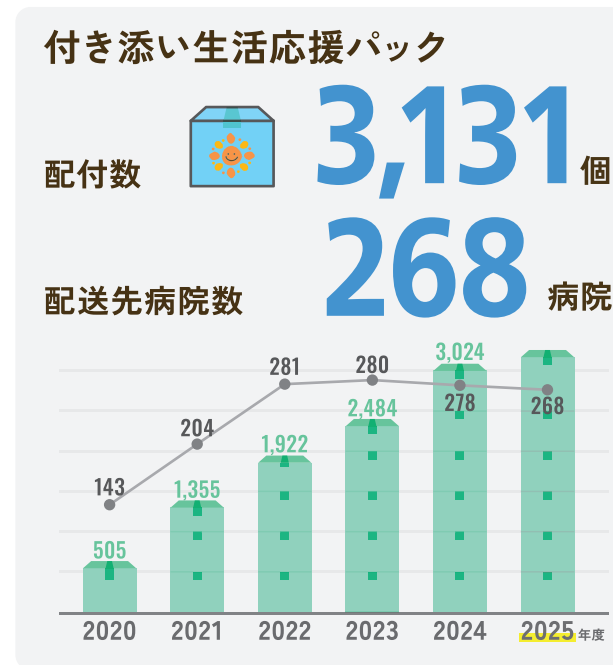
付き添い家族

長時間子どものケアが必要な中、付き添い家族は、睡眠や栄養も満足には取れず、現実には想像以上に過酷なもの。現在も多くのご家族が、支援を必要としています。



※厚生労働省の患者調査をもとに当団体が推計 ※当団体実施「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2025」より

事業



支援者・企業



目指す社会 子どもが入院しても家族が笑顔を支えにいられる社会

前提: 子どもにとって大切な人がそばにいる「子どもの権利」が守られる

子どもと家族の状況に合わせ、付き添う・任せるが選択できる

付き添うとき

親が健康を損なうことなく、経済的な負担も少なく安心して付き添える環境がある

付き添わない・付き添えないとき

安心して子どもを預けられる医療体制がある

「安心して付き添える環境・安心して離れられる医療体制」
両方が保障される社会へ

活動の全体像

直接支援	物資支援 ▶ P.7-8 付き添い生活応援パック 付き添い生活応援バックライト 食支援 ▶ P.9 ミールdeスマイリング 経済的支援 ▶ P.4 NEW 家族をつなぐ交通費支援	対象 付き添い家族	「つきそい応援団」サイト ・病院別クチコミ ・みんなの付き添いクチコミ ・病児・家族のサポート団体情報 ・持ち物リストなどお役立ちコラム 「つきそい応援団ハンドブック」	情報支援
	物資支援 ▶ P.11 医療従事者向けの食品・生活用品 物資支援 ▶ P.11 (付き添い家族向け物品) マットレス、電子レンジ、扇風機、 ラーメン汁凝固剤など 制度改善への働きかけ ・調査実施(付き添い当事者、病院、自治体) ・「付き添い白書」作成 ・政策提言、要望書提出 ・啓発活動(学会ブース出展、セッション開催、講演会・勉強会、イベントなど)	病院	「つきそい応援団」サイト ・付き添い環境改善 事例紹介コラム ・医療者インタビュー記事 環境改善アンケート ・病院別の環境改善事例を調査・共有 付き添い環境改善カタログ (26年度作成予定)	
付き添い環境改善		学会・自治体・市民	『つきそい応援団』サイト ・付き添い実態調査結果報告 ・付き添い関連コラム	

＼開始から6年／ 長期付き添い入院中の家族を支える
「付き添い生活応援パック」無償配付事業

多くの企業や個人の皆さま、病棟スタッフの方々のご協力のもと、
 6年間で全国へと広がりを見せています。

2025年度は
54社から
 応援の品々を
 寄贈いただきました

多くの企業様に支えられ、付き添い
 生活に役立つ食料品・衛生用品・
 日用品をお送りできました。支援
 企業数は累計で150社を超え
 ました。(2026年3月末時点)

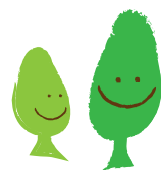
2025年度は
268病院
 の
3,131名
 へお届け

(2026年3月末時点で累計12,401個配付)



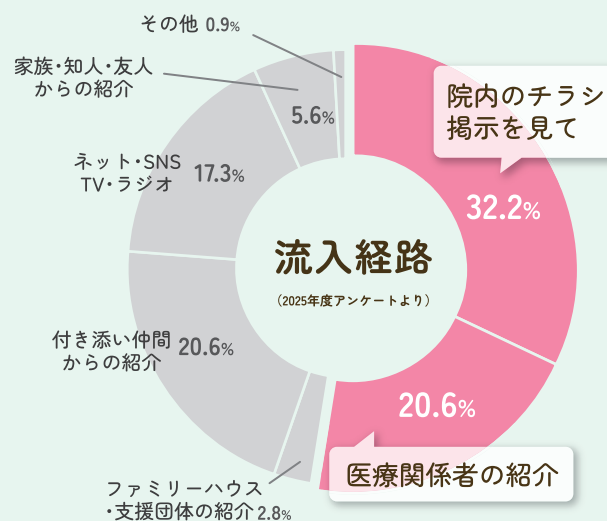
「Amazon
 ウィッシュリスト」
 からの寄付も同梱

病室に少しでも四季をお届けし
 たいという思いから、季節や
 行事にちなんでリスト
 を更新。



付き添い生活応援パックがお手元に届くまで

付き添いパックは、支援企業をはじめ多くの方々のご協力と想いによって、付き添い家族のもとへと発送されています。パックを知るきっかけとなった流入経路の調査では、医療関係者からの紹介が2024年度と比べて増加しました。院内での「募集チラシ」の掲示と合わせると、医療機関を起点とする経路が全体の半分以上を占めています。



毎日お申込み確認しています！

お申込みの確認



長期付き添いの方は、応募から
 90日経つと再応募が可能

商品の管理と保管

- ・ご寄付いただいた大切な商品は消費期限や在庫数などをデータベースで日々細かく管理
- ・季節や院内温度も考慮し、消費期限や全体のバランスを見て、毎日入れるものを見直し

＼NEW！／ 短期・緊急入院の家族を支える
「付き添い生活応援パックライト」無償配付事業

2025年度は
54病院
 に導入され
8,725個
 をお届け

緊急入院の不安な夜を支える食品や衛生用品などを詰め合わせ、医療現場の判断で必要なご家族へ手渡していただいています。クラウドファンディングで集まったご寄付と助成金によって2025年7月、19の病院から配布がスタートしました。

看護師の皆さんにも
 好評価

すぐに食べられるものや歯ブラシ、洗顔料、
 ホットするお菓子など、何の準備もない
 最初の夜を支える商品を選んでいます。
 受け取ったご家族だけでなく、現場の
 看護師の皆さんからも高い評価を
 いただいています。



障害者雇用の
 創出に貢献

障害者就労継続支援(B型)施設の
 皆さんにパックライト封入・
 発送業務を委託しています。

医療者からのメッセージ

不安や緊張をやわらげるきっかけに

何の準備もないまま、突然に入院生活が始まるお子さま、付き添われるご家族にお渡しすると喜ばれます。すぐに食べられるものや、歯ブラシなどの衛生品など、本当に付き添い環境を理解されている皆さまならではのセレクトだと感じています。また、急な入院で不安や緊張でいっぱいの方に声をかける際、「付き添い生活応援パックライト」がきっかけとなり、その後のコミュニケーションが取りやすくなる場面もありました。

高山赤十字病院 看護師長 城下佳代さん



キモチも箱いっぱいに梱包し、発送へ



平日は毎日発送

- ・詰め方からも応援の気持ちは届きます。隙間なく向きを揃えてきれいに！が合言葉
- ・箱の中には、支援企業からの応援メッセージもお入れしています

付き添いご家族へお届け！



- ・最後は病院スタッフから付き添いご家族へ
- ・明るく元気なカラーと可愛いイラストのBOXは、病室に彩りもお届け

ミールdeスマイリング事業

付き添い家族を美味しいご飯で応援する、という私たちの活動の原点です。



2025年度は、1,124食をお届け

支援企業、地域の飲食店、プロの料理人、管理栄養士、調理ボランティアと連携し、毎月、都内のドナルド・マクドナルド・ハウスでご飯を手作りしたり、聖路加国際病院、東京科学大学病院、佐賀大学医学部附属病院に、応援の気持ちが込められた季節を感じるお弁当をお届けしています。2025年度は、年間265食を手作りし、859食のお弁当をお渡ししました。



2025年度は33の飲食店・企業の皆さまにご協力いただきました

毎月のミールプログラムに、衛生的な環境で栽培した弊社の無農薬野菜をお送りしています。食を通じて笑顔が広がり、未来への力につながることを願い、これからも変わらぬ応援してまいります。



株式会社ヤマイチ
浜口直子さん

野菜
支援



送料
支援

株式会社ARCTS
小倉彩世子さん



【2025年度にご協力くださった飲食店の皆さま】

株式会社ARCTS、あい菜食堂、AGUMIGroup、食堂新、ぎんざ神田川、銀座木村家総本店、とんかつ銀座梅林、ゴゴノイツ、コメダ珈琲店（錦糸町マルイ店）、コメダ珈琲店（佐賀兵庫店）、就労支援事業所Thumb & Pull、フルーツパーラー旬果、新世界グリル銀座店、タキヒヨー株式会社、やさい工房たたら、株式会社つばめ、株式会社ディアーズ・ブレイン、DEAN & DELUCA、トラットリア築地トミーナ、子ども食堂なごみ、梅花亭、和風鉄板焼秀屋、とんかつまい泉、焼肉小町新川店、天ぷらやす田銀座、YATSUDOKI、矢場とん銀座東京店、株式会社ヤマイチ、遊膳亭たか美、楊柳亭 美味求心、ユキチャンキッチン

「ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン 感謝の会2026」で感謝状をいただきました



2026年5月、「感謝の贈呈式&感謝の会」にて、感謝状をいただきました。NPOを立ち上げたばかりの頃、ドナルド・マクドナルド・ハウスでご飯を作るボランティアの皆さまの姿を目にしたことが、私たちの活動の土台を築いてきました。今回の感謝状を励みに、これからも心を込めたお食事をお届けしていきます。

病院支援事業

目指すは「付き添い環境改善のよろず相談所」。病院ごとのニーズに合わせた支援を、企業や団体と連携を深めながら届けています。

付き添い環境が少しでも快適なものになるように

病院ごとに抱える課題やご家族の声を丁寧に伺い、必要な支援と一緒に考えています。睡眠環境の改善に向けたオリジナルマットレスの製作・寄贈をはじめ、電子レンジや扇風機などの備品整備もサポート。地域の奉仕団体や企業との橋渡し役となり、それぞれの病院に合った環境改善を進めています。



医療者からのメッセージ

ご家族にとっての大きな支えに

電子レンジやマットレスは、患者さんとご家族の療養環境を確かな形で支えてくださっています。付き添い環境がより快適に過ごせるようになったことで、治療に向き合うための落ち着いた時間が生まれ、ご家族にとっても大きな支えとなっています。温かいご支援に心より感謝申し上げます。

東京都立小児総合医療センター 看護部長 亀田律子さん



医療従事者の皆さまへもエールを

株式会社千疋屋総本店よりご寄贈いただいた焼き菓子やゼリーなどを、北海道から九州まで27の病院で働く医療従事者の皆さまへお届けすることができました。

株式会社千疋屋総本店様より

2024年より支援をさせていただいております。大変な毎日をご過ごされている付き添い家族の方に、少しでもホッとできる時間をという想いから、弊社の焼き菓子・ゼリーなどをお届けさせていただいております。またこの度は、医療従事者の皆様へも支援品を提供させていただきました。今後ともこの素晴らしい活動を応援してまいります。



医療従事者の皆さまより

いつも付き添い生活応援パックを渡している病棟スタッフは「私たちがいいんですか！」と嬉しそうにしていました。また、小児科の先生たちは夕方回診後で疲れていた時間だったせいか、予想以上に喜んでいました！



★ ラーメンからマットレスまで 現場の困りごとを解決

ラーメンの汁の処理に困っているという相談を受け、医療機関を対象にアンケートを実施。各施設の工夫点を共有し、汁物凝固剤を寄贈しました。また、付き添いベッドにぴったりのマットレスを企画製作するなど、幅広い支援を行っています。

医療者向け情報発信を開始



「つきそい応援団」サイトにて、病院の付き添い環境改善事例紹介など病院向け記事コーナーもスタートしました。

2025年度活動カレンダー

目指す社会の実現に向けて、当団体が対峙する社会課題、支援活動内容の認知向上のため病児家族・一般向けのイベント、企業での講演や従業員参加型のボランティア活動を数多く実施しました。

イベント／メディア掲載

2025年
4月

- ・第73回早慶アメフト対校戦で募金活動
- ・クラウドファンディング「#ひと袋の安心を届けよう」(4/29～6/30)

5月

- ・東京都立小児総合医療センターにて「小児病棟わくわく応援団」によるイベント「都立小児に大集合！」実施

6月

- ・中央エフエム「銀ぱち Hook Up Bee to You!」
- ・「小児病棟わくわく応援団」勉強会「ポジティブ心理学に学ぶ、支える人のセルフケア」開催

7月

- ・J-WAVE「STEP ONE」

8月

9月

- ・「AERA with Kids+」掲載
- ・「anan」2464号の「応援の流儀2025」特集内、「私たちの助け合いのカタチ。」コーナー掲載

10月

- ・キープ・スマイリング×ケログ×JCHO群馬中央病院で「ケログスベシャル応援バック」を贈呈
- ・日本経済新聞・日本食糧新聞・上毛新聞 贈呈式について掲載
- ・【寄付者限定】オンライン活動報告会
- ・「Forbes JAPAN」12月号「『ソーシャルR&D』を実装するNPO50」に選出
- ・「小児病棟わくわく応援団」勉強会「子どもが入院するときの付き添いとは」開催

11月

- ・「ワクワクつながる祭典2025in秋田」ブース出展
- ・東京都立小児総合医療センター「こども救命フェスティバル」ブース出展
- ・第14回「日本ポジティブサイコロジー医学会学術集会」(東京都港区)ブース出展

12月



2026年
1月

- ・国立成育医療センター「小児がん交流フェスタ2026」ブース出展

2月

3月

- ・「ワクワクつながる祭典2026」ブース出展
- ・「小児病棟わくわく応援団」勉強会「子どもが入院するときの付き添いとは第二弾」開催

講演・登壇

- ・ニールズヤードレメディーズ様とインスタライブ
- ・一橋大学にてゲスト講演

- ・田辺三菱製薬(現田辺ファーマ)労働組合様にてフードドライブ実施
- ・東京学芸大学にてゲスト講演

- ・日本小児神経学会公開講座「地域で生きる・地域で支える」にて講演
- ・株式会社CUC「未知との遭遇」にて講演

- ・サントリーホールディングス株式会社様主催セミナー「知られざるNPO」にて講演
- ・オープン株式会社様にて講演、フードドライブ実施
- ・東京中央新ロータリークラブ様にて講演
- ・認定NPO法人プラチナ・ギルドの会にて講演

- ・アイマックスジャパン株式会社様にてフードドライブ実施

- ・キャピタル・グループ様にて講演、付き添い生活応援バックライトの梱包ボランティア実施
- ・和歌山県立医科大学付属病院主催「Gold September 2025 in 和歌山」にて講演

- ・東京銀座新ロータリークラブ様にて講演
- ・一般社団法人日本医療保育学会 全国研修会にて講演

- ・認定NPO制度の未来を語るイベント「ignite!」にてセッション登壇
- ・第4回北海道・東北ブロック小児がん拠点病院小児がん相談支援研修にて講演
- ・キンドリルジャパン株式会社様にて講演、クリスマスプレゼントの梱包ボランティア実施
- ・ビジョン株式会社様にて講演

- ・「こどもふるさと便」連携発表会にて登壇
- ・豊田通商株式会社様にてオンライン講演
- ・経済同友会主催の「共助資本主義 第5回 マルチセクター・ダイアログ」にて登壇

- ・マリンクロット ファーマ株式会社様キックオフミーティングにて講演

- ・株式会社SUBARU様にて講演、フードドライブ実施
- ・名古屋商科大学ビジネススクールの勉強会にて登壇

- ・NPOサポートセンター「10代と20代のためのNPOキャンパス」にてゲスト講演
- ・「令和7年度小児慢性特定疾病児童等自立支援事業成果報告会」にて基調講演



小児病棟わくわく応援団初の病院内イベント。歌と踊りのパフォーマンス、プラネタリウム、ブーススタンプラリーなど参加者の笑顔が溢れた1日でした



JCHO群馬中央病院にて入院中の子どもたちと付き添いのご家族に「ケログスベシャル応援バック」贈呈式を実施



地域のエフエム番組に出演。活動を広く知っていただくほか、実施中のクラファンについてお知らせ



「Forbes JAPAN」12月号「『ソーシャルR&D』を実装するNPO50」に選出



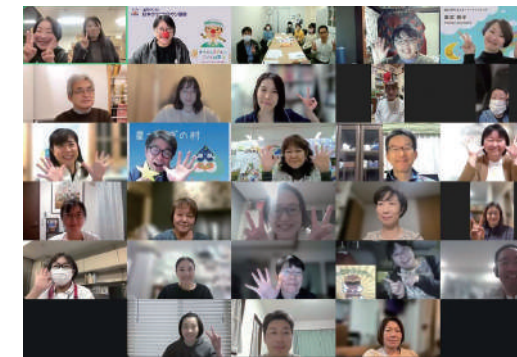
大学など学生向けの講演も積極的に実施。活動紹介だけでなく「子どもの権利」「イノベーション」などテーマに合わせた内容も



企業内会議室に有志が集まり、付き添い家族へのクリスマスプレゼントを企業ボランティアが梱包



認定NPO制度の未来を語るイベント「ignite!」の「認定制度のこれまでと未来 認定NPO法人制度の課題と次の一手」をテーマにしたセッションに登壇しました



「付き添い」をテーマとしたオンライン勉強会を開催。医療者、当事者家族を中心に職種や立場を超えた学び合いが実現しました

支援を受け取った皆さまの声

付き添い生活応援パック

可愛いパッケージを
見ただけで、ホッとしました。
ベッドから動けなくても飢えること
はないという“安心”を得られました。



院内でのちょっとした買い物に便利

申し込み翌日の午前中に
届いて、そのスピード対応に
びっくりしました！素敵な段ボールを
開けると、母の日のギフトラッピングの
お品物が！手書きの応援メッセージにも
胸がいっぱいになりました。

笑顔を忘れかけていた
日々の中、箱を開けたとき
「がんばってるね」と言われ
たような気がしました。



自分で色を塗るのが楽しいと好評

付き添い家族の
状況を考えて
くださっている品揃え
だと思いました。

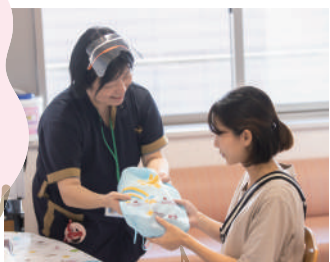


経験者だからこそのこだわりを詰め込んだ
耐熱フードボールとスプーン

生活に必要なものだけでなく、気持ちが
和らぐリラックsgッズがたくさん入っていて
驚きました。企業からの応援メッセージには
涙が出ました。

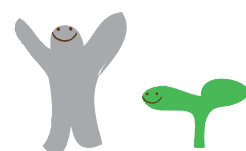
付き添い生活応援パックライト

付き添い入院は
しんどいですが、
それに対してプレゼント
をもらったみたい
で嬉しかったです。



急な入院で手ぶら
だった中での付き添い
生活応援パックライト。本当にありがた
かったです。いろんな方々に助けられて
いると感じました。

交通費支援



金銭的な負担が緩和
され、精神的に非常
に助かりました。

遠方に行くことが、
心理的にも、経済的にも
かなりストレスとなっていました。
その不安をサポートしていただき、
ありがたく思っています。



子どものケアで頭がいっぱい
の中、親の負担に寄り添って
もらえることにほっとしました。



ミールdeスマイリング



治療中の我が子の前で、自分だけ
食べたいものを食べるのは何となく気が
引けて...自分の食事は子の食べ残しだけで
いいか、と簡単に済ませることが多いですが、
お弁当をいただくと堂々と食べることが
できます♪

お腹いっぱいになりました。
泣いてばかりいましたが、
元気が出ました。



自分が当事者になるまで
こんな世界を知らずに生きて
いました。なかなか現状の認知や
理解のない中、応援してくれている
企業があることが嬉しかったです。



桜が咲いているのを
見ても春を受け入れられず、
ここに来た秋で私の中の日は止まって
いました。でも、今日のお弁当を見て感動
しました。手の込んだ料理を食べて心が
安らぎました。やっと春を感じることが
できました。



佐賀スタッフのお手製ギフト。季節感もご飯と一緒に届く



あなたの入院付き添い体験を、誰かのエールに♪

付き添い経験者の知恵や応援メッセージ
を書き込めて読める掲示板サイト。「知ら
なかった」を減らし、「ひとりじゃない」と
感じられる情報を届けています。経験者
から次の付き添い家族へ、支え合いの輪
が広がる情報プラットフォームです。

つきそい応援団
<https://tsukisoi.jp/>



経験者の声が、これから付き添う人へのエールに。
入院付き添い生活を支える情報プラットフォーム

シャワー室が混んでいたもので、
近くの銭湯に行きました。バス
でしたが1時間以内に戻れたの
で、リフレッシュできました。



人と交流することが苦手であ
れば、付き添いしている他の
ママさんパパさんと話すことで
自分自身の気分転換になると
思います！



次女に付き添っているため、
家にいる3歳の長女と朝晩ビデ
オ電話をしています。声に反応
するので、娘が自分で電話でき
るのがよいです。



支援者・支援企業の声



私たちの活動は、支援してくださっている皆さまの存在があってこそ。
支援のカタチはさまざまです。

エーザイ株式会社 コンシューマー-hhc事業部のみなさん

エーザイ(株)コンシューマー-hhc事業部は、『hhc(human health care)理念』のもと、患者さんだけでなく、そのご家族や付き添いのみなさまにも寄り添うことを大切にしております。認定NPO法人キープ・スマイリング様の活動は、付き添い入院という社会課題に向き合い、笑顔と安心を届ける大変意義深い取り組みであり、深く共感しております。今後も、付き添いのみなさまが少しでも前向きな時間を過ごせる社会を目指し、応援してまいります。

ご支援のカタチ：

現物寄付・協賛 寄付
ボランティア



太陽石油株式会社 販売統括部 販売戦略グループのみなさん

「この星と人のチカラに。」のスローガンのもと、18ヶ所のサービスステーションにブックオフ「キモチと。」回収ボックスを設置しています。子どもたちやご家族の笑顔につながる支援を地域の皆さまと広げ、入院中の子どもたちと付き添うご家族を応援しています。

ご支援のカタチ：

売って応援！



マリンクロット ファーマ株式会社

代表取締役社長 上田 享司さん

お子さんが病いをのりこえ健やかに成長されることをひたすら願い、身を尽くして寄り添うご家族が、小児科入院治療を支えているのだと心を打たれています。キープ・スマイリングさんの実体験に基づく活動は、社会に変化させる大きな意義を感じます。お子さんとご家族が希望をもって安心して過ごせるよう医療の現場を少しでも良くしたい、私たちもおなじ願いです。よりよい治療をとどけることで一助となれるよう力を尽くしています。

ご支援のカタチ：

寄付 情報発信



おひさまメンバーズ

25年前の付き添い入院を経験し、その大変さを今も忘れることができません。子どもの成人を機に、おひさまメンバーズとして応援を始めました。調理ボランティアや団体の紹介を通じて、活動の輪が広がることを願っています。

ご支援のカタチ：

寄付 おひさまメンバーズ



株式会社フィネス

取締役 祖父江 圭祐さん

「子どもが入院しても、家族が笑顔を失わずにいられる社会を」。キープ・スマイリング様のこの想いに、私たちは深く共感いたしました。私たちの支援は微力ではございますが、付き添いのご家族さまが少しでも心身を休め、前を向く力につながれば幸いです。実際に支援を受けられた方々から感謝のお声をいただくたびに、この活動の大切さと温かさを実感しています。これからもキープ・スマイリング様の活動を応援してまいります。

ご支援のカタチ：

現物寄付・協賛 寄付
自社ポイント寄付 情報発信



トラットリア築地トミーナ

オーナーシェフ 富山晶行さん

イタリア料理店でシェフをしています。次男が3歳から5歳の間に入院を繰り返したことで、我が家も付き添い入院を経験しました。妻は辛すぎて付き添い入院中の記憶があいまいだといいます。自分も交代で付き添いましたが、孤独感と不安でいっぱいでした。ですので、キープ・スマイリングさんの活動を知ったときに、直ぐにご協力の声を上げさせていただきました。僕はお食事の向こう側であなたとご家族の笑顔を応援しています。

ご支援のカタチ：

寄付 おひさまメンバーズ
お弁当の提供



Amazonウィッシュリスト

子どもが病気で入院した時に親の付き添いが必要とは、全く知りませんでした。Amazonウィッシュリストで選んで時々お届けしますので、キープ・スマイリングさんと付き添いの親御さんのお役にたてたら幸いです。

ご支援のカタチ：

買って応援！ 寄付 おひさまメンバーズ



ふるさと納税

ふるさと納税なら、いつもの制度を活用しながら社会貢献ができることを知り、寄付しました。子どもの入院に付き添うご家族の現状を多くの方に知っていただき、この活動を応援する輪がさらに広がっていくことを願っています。

ご支援のカタチ：

寄付 ふるさと納税



キンドリルジャパン株式会社

Social Impact (社会貢献) 松山亜紀さん

キンドリルでは、社会課題を知ることがボランティア活動の第一歩と考え、講演会とクリスマスプレゼントのパッキングで一緒にさせていただきました。付き添い家族の現状を学ぶとともに、一つひとつ心を込めて準備したバックが、ご家族の安心や安らぎにつながることを初めて実感し、社員も大変心を打たれておりました。キープ・スマイリングの活動が広がり、より多くのご家族に支援が届くことを心より願っています。

ご支援のカタチ：

寄付 情報発信 ボランティア



ご支援のカタチ：

現物寄付・協賛

付き添い生活応援バック、バックライトに入れる支援品として、商品のご寄付や協賛を募集しています。個数はいくつからでも構いません。

売って応援！

不要品の買取金額を寄付に変えられるブックオフの宅配買取サービス「キモチと。」。また、店舗やオフィスに回収BOXを設置する方法もあります。

買って応援！

支援型自動販売機を設置いただき購入代金の一部が寄付される仕組み(法人向け)や、ClubTでのチャリティグッズの購入、Amazonウィッシュリスト(個人向け)があります。

寄付

クラウドファンディング、自由な金額の都度寄付、100,000円(1000円)の年会費を支払う法人賛助会員などがあります。

おひさまメンバーズ

毎月1000円～の継続的な寄付で活動を応援いただくマンスリーサポーター制度です。

ふるさと納税

返礼品として、私たちの活動をご支援くださる佐賀の生産者さんや企業パートナーさんの素敵な商品をご用意しています。

自社ポイント寄付

自社のECサイトでのお買い物で貯まったポイントを、お客様が寄付として選択できるようにしていただくご支援方法です。

情報発信

社内の勉強会やイベントなどで当団体の理事長がお話しさせていただき、社会課題の認識を深めていただきます。公式サイトで当団体をご紹介いただくなども。

お弁当の提供

病棟に自社製のお弁当を無償、または応援価格でご提供いただく支援方法です。

ボランティア

社内のボランティア活動の一環としてラッピング等を実施できます。当団体理事長の講演の同時開催も可能です。

支援企業・団体一覧

私たちの活動にご寄付・ご支援をくださっている企業・団体の皆さま



アイマックスジャパン株式会社、AGUMI Group、アステラス製薬株式会社、株式会社アハヴィー化粧品、株式会社アリミノ、イオン東雲店、石井食品株式会社、株式会社洋菓子舗ウエスト 日野配送センター、株式会社HRデータラボ、株式会社遠藤製館、株式会社オーシン、オープン株式会社、おかびファーマシーシステム株式会社、株式会社奥村組、オムニコムヘルスグループアジアパシフィック株式会社、春日井製菓販売株式会社、株式会社カレッジ、株式会社木曽檜三百年、キャピタル・インターナショナル株式会社、京セラ株式会社、株式会社銀座周月堂、キンドリルジャパン株式会社、三省製薬株式会社、シックスセンスラボ株式会社、株式会社SUBARU、株式会社セールスフォース・ジャパン、株式会社セブンアールコンフェクショナリー、太陽石油株式会社、田辺ファーマ労働組合、株式会社つばめ、株式会社ディアーズ・ブレイン、東京赤坂ライオンズクラブ、東京中央新オータリークラブ、トラットリア築地トミナ、ドルトン東京学園、株式会社トワメイト、株式会社名古屋光商事、株式会社にしき食品、株式会社にんべん、株式会社ネットワークコミュニケーションズ、ファイテン株式会社、ブックオフコーポレーション株式会社、株式会社プロミッション、株式会社ヘアジニアス・ラボラトリーズ、マイクロンメモリジャパン株式会社、マリンクロットファーマ株式会社、早稲田大学米式蹴球部BIGBEARS

...その他にもたくさんの企業、団体様よりご支援いただいています。

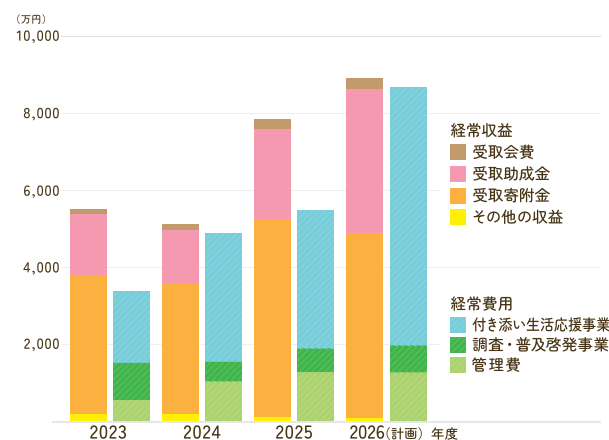
財務報告

2025年度活動計算書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

	科目	金額
A 経常収益	受取会費	2,396,000
	受取寄付金	51,711,593
	受取助成金等	23,183,401
	その他収益	1,058,170
	経常収益合計	78,349,164
B 経常費用	事業費	42,047,444
	付き添い生活支援事業	35,740,839
	調査・普及啓発事業	6,306,605
	管理費	12,833,229
	経常費用合計	54,880,673
	当期経常増減額【A】－【B】＝①	23,468,491
C 経常外収益	経常外収益計	0
D 経常外費用	経常外費用計	0
	当期経常外増減額【C】－【D】＝②	0
	税引前当期正味財産増減額 ①＋②＝③	23,468,491
	法人税、住民税及び事業税 ④	0
	前期繰越正味財産額 ⑤	53,181,168
	次期繰越正味財産額 ③－④＋⑤	76,649,659

経常収益・経常費用の推移



支援が広がる今だからこそ、

継続的なご支援が必要です

新たな事業への挑戦や支援の継続には、毎月の継続寄付が大きな力になります。子どもが入院しても家族みんなが笑顔を見失わずにいられる社会を目指し、これからも着実に活動を広げてまいります。

2025年度

寄附金・助成金収入が大きく伸び、いただいたご支援を力に、「付き添い生活応援パック」や「付き添い生活応援バックライト」など既存事業を大幅に拡充することができました。組織体制は前年度から大きく変えることなく、支援企業の皆さまからの物資提供やご協力にも支えられ、生活支援事業の年間受益者数は12,000名を超えました。また、遠方の病院へ付き添うご家族の経済的負担を軽減する「交通費支援」も開始し、支援の幅を広げながら、より多くのご家族に寄り添う一年となりました。2025年度は、将来の事業拡大に備えた組織基盤づくりも進めた一年です。いただいたご寄付を着実に社会的インパクトへとつなげながら、次年度以降のさらなる挑戦に向けた準備を進めることができました。

2026年度計画

2026年度は、助成金収入が前年比約1,400万円増となる見込みです。これを活かし、新たに病院の付き添い環境改善を支援する「よろず相談所」事業を開始するほか、「交通費支援」の本格実施など、食品・物資の支援にとどまらない新たな取り組みを進めます。事業費は前年度比約3,000万円増を計画しており、事業拡大に合わせて人材採用やオフィス移転など組織基盤の強化も進めてまいります。こうした先行投資により、一時的に支出は大きく増加する見込みですが、より多くの子どもの付き添うご家族を継続的に支えるために欠かせない投資だと考えています。昨年度スタートした継続寄付制度「おひさまメンバーズ」をさらに育て、安定した活動基盤を築きながら、支援と社会課題の解決をより一層前へ進めてまいります。

2025年度助成金・報奨金

[助成金]

- ・TOOTH FAIRYプロジェクト(日本財団・日本歯科医師会)
- ・こども笑顔応援基金(東京コミュニティー財団)
- ・タケダ・ウェルビーイング・プログラム2025(武田薬品工業株式会社)
- ・山本正喜ポリシー基金(株式会社PoliPoli)
- ・東急子ども応援プログラム(東急株式会社)
- ・YOKOHAMA まごころ基金(横浜ゴム株式会社)
- ・久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部

[報奨金]

- ・第77回保健文化賞(第一生命保険株式会社)
- ・ブラチナ・ギルドアワード2025(認定特定非営利活動法人ブラチナ・ギルドの会)

この活動計算書が会計帳簿の記載金額と一致し、特定非営利活動法人キープ・スマイリングの収支を正しく示していることを認めます。

監事 三浦 真 (公認会計士)



詳しくはこちら

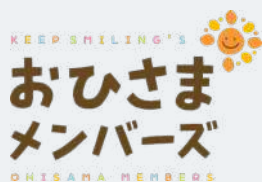


子どもも親も
たぶん同じことを思っている。

そばにいてくれるだけで
笑ってくれるだけで
ほかにはなんにもいらないよ。

だからわたしたちは
その笑顔を守るために。

We are Smile Keepers!



継続して応援する【おひさまメンバーズ】になりませんか？
付き添い環境の改善には息の長い地道な取り組みが必要とされ、継続的なご寄付は、そのための大きな力になります。ぜひ、「おひさまメンバーズ」の一員として、キープ・スマイリングの活動にご参加ください。



認定NPO法人キープ・スマイリング

〒104-0061 東京都中央区銀座4-13-19 銀林ビル4F
info@momsmile.jp <https://momsmile.jp>



公式サイト